

歴史は未来の羅針盤

温故知新

これまで刊行しました、『近江日野の歴史』
第一巻「自然・古代編」、第二巻「中世編」、第
五巻「文化財編」、第六巻「民俗編」、第八巻
「史料編」は、教育委員会や各公民館などに
いて、一冊四、〇〇〇円で好評販売中です。ぜ
ひともお買い求めください。

充実の付録CD-ROM

家訓・店則、社会貢献など、さま
ざまな側面から日野商人の実態に
迫ります。

『近江日野の歴史』第六回配本
の第七巻「日野商人編」は、来年
三月刊行予定です。今回は、その
おもな内容についてご紹介します。

日野商人編のあらまし

日野商人は、江戸時代中頃の
元禄期から本格的に活躍しはじめ
ました。椀や売薬などの地場産業
と結びついて発展し、日野の特産
品を持ち下り、行商先の産物を登
せる「産物廻し」で財をなしたと
言われています。のちに行商先で
出店を開き、醸造業などを営んで
現在まで続く老舗となった商家が
多くあります。昨今では、経営理
念や社会貢献意識などがビジネス
モデルとして注目されるようにも
なりました。

本巻では、日野町内や出店先に
伝来した膨大な史料を読み解き、
これまでの日野商人や近江商人の
歴史に多くの史実を書き加え、
新発見をもたらす内容となっております。

以下では、各章ごとに、その概
要をご紹介します。

各章のおもな内容

第一章「大当番仲間と『日野商
人』では、日野商人とはどのよ
うな商人なのかについて、日野商
人の歴史的な推移をたどり、おお
まかな全体像を明らかにしてい
ます。とりわけ、行商先での商業
活動の便を図るために結成された
日野大当番仲間について再検討を
行います。日野大当番仲間は、元
禄期から明治期まで続いた商人組
合ですが、その機能と活動につい
て史料をもとにわかりやすく解説
します。

第二章「日野の売薬商人」では、
日野を代表する産業でもあった売
薬業にかかわって、「町方」すな
わち江戸時代の「日野三町(村井
町・大窪町・松尾町)」と、「在方」
すなわち村落部の売薬商人を取り

上げます。本巻では、著名な
「萬病感應丸」の製造元として知
られる正野玄三家、公卿山井家の
御用商人として菊御紋の使用を許
された西大路の藤岡五兵衛家、自
らも薬を調合し関東で売薬の行商
を行った木津の岡徳右衛門家の三
家について分析します。

第三章「他国持ち下り商いの商
人」および第四章「日野商人略伝」
では、日野に本宅(本家)を置い
て、他国で商業活動を行った商人
を、伝来する古文書の量や内容に
よって章別で取り上げます。いず
れの章でも、日本列島の北から南
の順で地方別に区分して、当該地
方で商業活動をした商家を紹介し
ます。とくに第三章では、商用帳
簿類が比較的多く遺されていて経
営の実態がわかる商家を対象とし、
第四章では、伝来史料が少なく実
態を詳細に述べることが難しい商
家を対象とし、他文献より情報を
補いながら分析・解説します。創
業の経緯、経営分析、雇人制度、

予約と販売のご案内
「日野商人編」の販売価格は
四、〇〇〇円(税込)ですが、
平成二十四年一月末日までにご予
約いただきますと、三、八〇〇円
の割引価格にて販売いたします。
また、最終巻が無料となる全巻セツ
ト購入の受付もうけたまわってお
ります。詳しくは、まもなく配布
しますリーフレットをご覧ください。
い。

本文に掲載することができなかつ
た経営に関わる詳細な図表、大当
番仲間の加入者一覧表、家訓・店
則・遺言を中心とした重要史料の
翻刻や写真をはじめ、地図と写真
を交えた各商家の出店情報を収録
する予定です。

日野商人研究の成果を一冊に集
束させた「日野商人編」を、この
機会にぜひともお買い求めくださ
いますよう、お願いいたします。